

# 学校アートプログラム (文化芸術による次世代育成事業)

関西・大阪21世紀協会が2021年度より実施している「学校アートプログラム」。本事業は小学校にアーティストを派遣して行う体験授業で、友だちとともに創造する体験が、子どもたちの人間力や思考力などを育むきっかけとなることを期待して実施してきました。

事業開始から3年目となる2023年度は、昨年度に引き続き大阪府泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町の合計5校で実施しました。それぞれ実施後には児童アンケート、教員アンケート、教員との振り返りを実施しました。

いずれも「やってよかった」「またやりたい」という声は90%を超え、普段の授業とは違う体験に満足してくれている様子でした。また、「みんなが表現するのを見たり、聞いたりすることが楽しかった」という結果から、自分とは違う表現に対して認め合えたことが読み取れます。「他にもアーティストの作品(演奏など)を見たいですか」の質問に「はい」と答える児童は90%以上となり、文化芸術への興味が高まっていることが伺えます。

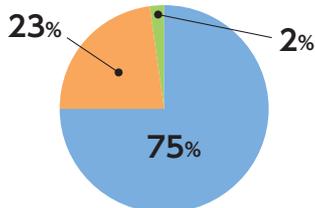
## ～3年間の振り返り～

### ～プログラム実施実績～

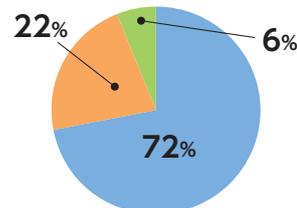
年度	自治体名	学校名	学年	内容	講師
2021年度	泉南市	東小学校	4年生	インドネシアの音楽と影絵体験	ハナジョス
		新家小学校	4年生	映画作り	前田耕平
	阪南市	下荘小学校	6年生	教室に潜む形で使ったステンドグラス模様作り	野原万里絵
	岬町	深日小学校	5年生	水平線から生まれるアニメーション作り	林勇氣
2022年度	泉佐野市	第三小学校	4年生	インドネシアの楽器を使った音楽作り	ハナジョス
		第三小学校	5年生	教室に潜む形で使ったステンドグラス模様作り	野原万里絵
	泉南市	東小学校	5年生	南アフリカの音楽とアート体験	ンゴシ・アフリカ
		新家小学校	5年生	廃材を使った守り神作り	石田真也
	阪南市	朝日小学校	3年生	南アフリカの音楽体験	ンゴシ・アフリカ
岬町	深日小学校	4年生	南アフリカの音楽体験	ンゴシ・アフリカ	
2023年度	泉佐野市	第三小学校	4年生	南アフリカの音楽とアート体験	ンゴシ・アフリカ
	泉南市	東小学校	6年生	描く音、奏でる図形	橋爪皓佐
		新家小学校	6年生	インドネシアの音楽と影絵体験	ハナジョス
	岬町	深日小学校	5年生	廃材を使った守り神作り	石田真也

### ～アンケートの結果～

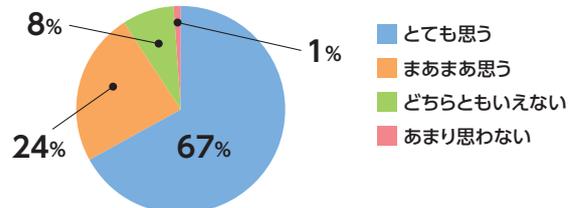
アーティストと一緒に活動できて、普段とは違う体験ができた。



みんなが表現するのを見たり、聞いたりすることが楽しかった。



ほかにも、アーティストの作品(演奏など)を見たいと思いますか？



### ～3年連続で体験した子どもたちの感想～

継続的に実施したことで、子どもたちにどのような効果をもたらしたのでしょうか、4年生から連続で受講した泉南市立東小学校、新家小学校の児童に感想などを聞きました。

- ・あまり関われなかった人たちとすごく話せるようになった。
- ・自分はこんなことができるんだとわかった。
- ・いろいろなものに興味を持てた。
- ・好奇心が強くなって、なんだろう？と思ったことをやってみるようになった。



- ・自分やみんなの個性がわかって楽しかった。
- ・他の国の文化に触れてみんなと協力して想像もつかなかったことが作れて楽しかった。
- ・難しいことに挑戦して達成感があった。



## ～2023年度に実施した新たなプログラム～

● 実施小学校：泉南市立東小学校（6年生）

● 講師：橋爪皓佐（音楽家）

「描く音、奏でる図形」と題して作曲と図形楽譜づくりに挑戦しました。身の周りの音、自然の音など普段は気に留めていなかった音などを聞く体験をしたうえで、学校内で音を採取、音を再現。再現した音で作曲したものを図形化しました。

出来上がった音楽は全校児童に向けて発表しました。



### 泉南市から感謝状

2021年度から3年間、毎年泉南市の小学校2校で学校アートプログラムを提供したことに對して、山本優真泉南市長（写真右）より当協会へ感謝状と謝意をいただきました。



## ～ 枠組みを活用した事業～

学校アートプログラムの基本的な枠組みを活用して他の団体にプログラムを提供するなど、取り組みを拡大しています。今年度は新たに、泉南市とフィリピン共和国ダバオ市との姉妹都市協定の締結を契機に展開している国際交流事業のほか、昨年度に引き続き阪南市の海洋教育にもプログラムを提供しました。

### ▶ 国際交流事業への協力（泉南市）

● 実施小学校：泉南市立東小学校（4年生）  
泉南市立新家東小学校（6年生）

● 講師：Mizutama（アーティスト／FIGYA代表）、田口雅英（作曲家）、  
ノーマン・ファルカサントス・ナルシソ  
（アーティスト／アテネオ・デ・ダバオ大学教授）

身の周りの物を日常的な使用方法から離れて、音の出る道具と見立て観察。自分の周りの魅力的な音を探し、発見した音の特徴を生かしながら即興的に音を組み合わせることで音楽を作りました。さらにはそれを図形楽譜として記譜し演奏しました。

完成した図形楽譜は、フィリピンのアーティスト、ノーマンさんのグループにも独自の解釈で演奏してもらい、自分たちとは違う表現を知ることによって交流を図りました。



### 泉南市成長戦略室長 伊藤公喜さん コメント

本市と姉妹都市のダバオ市との交流事業にご助力いただきありがとうございます。体験授業に参加した子どもたちの満面の笑みが印象的でした。貴協会の学校アートプログラムのように、楽しくすんなりと異文化にふれる機会が増えると、自然と多文化共生の感覚が芽生えてくるでしょうね。とても素晴らしい取り組みだと思いました。



### ▶ 海洋教育への協力（阪南市）

● 実施小学校：阪南市立上荘小学校（4年生）

● 講師：川口奈々子（画家）

「わたしの海のもよう」と題して、海の生き物をモチーフとしたバンダナづくりのワークショップを実施しました。

学校の事前授業で実施した「海の生き物を調べ」から、バンダナに描く生き物を選んで下絵を描きました。

普段から身近にある生き物以外にも古代魚や深海魚などにも興味を持ったようです。

完成したバンダナは、地域の音楽発表会の際に首や腕に巻いてお披露目しました。

アーティストの技術や感性に触れながら子どもたちが自由に表現することで、自分たちの身近にある「海」について今まで以上に興味を持ってもらい、また「アート」の視点から海を楽しみました。

